



地域と福祉と精神科医療をつなげる 心のおたより

くろだより



2019年
春号
Vol. 29

〒791-3161 愛媛県伊予郡松前町大字神崎 586 番地 電話 089-984-1201(代表) 医療法人光佑会くろだ病院

医療・福祉関係機関及びご家族の皆様へ

皆さん、新元号には慣れましたか？

『令和』は万葉集から“初春の令月にして、気淑く風和ぎ”の一文から抜粋しており、“初春の佳き月で、空気は清く澄みわたり、風はやわらかくそよいでいる”という意味を持っているそうです。日本人の心という感じがして素敵ですね。



天皇の退位・即位により社会では10連休でしたが、旅行などに行かれた人も多いのではないのでしょうか？ちなみに私は・・・田植えの準備をしていました。身体が筋肉痛です(>_<)



さて、前置きが長くなりましたが『令和元年』始めてのくろだよりをどうぞ！！

KURODA HEARTS

〈New Era〉



新年度が始まりました。と同時に新元号も発表されました。

今年は特別、新鮮な気持ちでこの新たな年度の始まりを迎えることができました。

いつも言うことですが、この時期は別れと新たな出会いがあります。当院も新しく入職された方々(逆に)退職された方々が例年以上に多くみられました。

今年は当院だけでなく、併設する2施設との連携を強化し、グループ全体で新たな挑戦を行って行きたいと思います。

記念すべき令和元年を意義ある一年にしたいと思います。

本年度もよろしくお願い致します。

From Norio Kuroda

平成31年4月より、くろだ病院に島根大学名誉教授・慶応大学
客員教授の堀口 淳^{ほりぐちじゅん}先生に来ていただくことになりました。

週1日、基本木曜日に『もの忘れ外来』を担当していただきます。
そんな堀口先生に質問しました！先生は私たちの質問に始終穏やかな表情で、時折冗談を交えながら丁寧に答えてくださいました(^)
それではインタビュースタートです☆



Q. 血液型と星座は？

A. A型の双子座です。虫歯^{むしば}(6/4)デー生まれです。

Q. ご出身地は？

A. 宇和島です。

Q. ご趣味は？

A. ・釣り！釣りをする為に宇和島に帰って来たと言っても過言ではないですね。
主に陸釣りします。チヌを狙っているのに、こっち(宇和島)に帰ってから一匹も釣れていません(哀)。
・お酒(大量飲酒と書いておいてと言われました)笑。
・映画鑑賞。主に洋画を好んで見ます。
・サッカーも好きです。得点王だったんですよ。今でもします。半径50m以内しか動きませんけど。ゴール前で待ってます。笑

Q. 好きなもの(事)は？

A. 今考えると、ワーカーホリック(仕事中毒)ですね。あとアルコール症。
カラオケ中毒。居酒屋中毒。特に同級生と飲むのが好きです。至福のひとつになります。よく考えれば中毒ばかりですね。笑

Q. 嫌いなもの(事)は？

A. 奥さん(恐妻家)笑。高いところ。と言っても飛行機は年に何度も乗るんです。
それは大丈夫だけど、下が見える高い場所は、1mでも高いとダメですね。

Q. 好きな言葉を教えてください。

A. ・“双々居”（そうそうい）。中国の言葉なんですけどね…。

あっ！意味書かないで！みんなに調べてもらったらいいよ。（私は先生から教えてもらいましたけど…）

- ・“時間” 待つのが嫌いです。待ち合わせをして3分でも待たされると機嫌悪くなります。3分無駄にしているんですから。その3分は、もう戻ってきませんからね。常に明日、死んでもいいように心がけています。自分は明日、死なないと思っているのは妄想ですよ。笑 そんな未来の事は誰にも分かりませんからね。
- ・あとは、“無事” という言葉も好きです。

質問は以上です。最後に先生からひと言頂きました。

『負けたいけんで、認知症なぞに！』

認知症の原因になる病気などは、約100あります。

アルツハイマー病だけではありません。ですから、正しい診断が極めて重要です。専門医でないと、正確な診断がつけにくい上に、専門医でも難しい場合もあります。

一方、治療で治る認知症もかなりあります。うつ病や甲状腺疾患、ビタミン欠乏症や脳の血腫など様々です。

認知症は早期発見が最重要です。さまざまな予防薬が有効ですし、最近では漢方薬の効果が注目されるようになりました。私は抑肝散や人参養栄湯の有効性を実施してきました。

いずれにしても、何の病気でも「食事」「睡眠」「運動」が大事です。特に不眠の方は早く受診してください。

私はくろだ病院で「もの忘れ外来」を担当させていただくようになりました。お気軽に受診してください。

認知症なぞに負けてはアカンのです！

もの忘れ外来日

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

※外来日が決まり次第、
随時お知らせしていきます。

毎週水曜日の認知症外来は
通常通り診察しています。
どちらも予約制になっており
ますので、ご連絡ください。

平成31年4月2日（火）に毎年恒例のお花見会を開催しました。

毎年行われているお花見会も、今年は『平成最後』の開催となりました。開花予想では見頃を迎える予定でしたが、当日は2～3分咲きとやや控えめな桜で風も強く肌寒い中ではありましたが、楽しみにしていたお花見弁当に笑顔が見られ、ひと安心しました。

カラオケ大会では、予定者だけでなく飛び入り参加者も数名ではありますが歌っていただくことができました。

来年は『令和最初』の開催ですので、満開の桜の中でのお花見になるよう、職員一同祈るような気持ちで準備に取り組みたいと思います。

（ お花見実行委員長 作業療法士 栗林 洋一 ）



竹内先生 おっかけ（?!）活動報告

家族懇談会

平成31年3月22日（金）松前町総合福祉センターで行われた竹内先生による「家族懇談会」に同行しました。

今回は、『向精神薬について』のテーマで講義が行われ、その内容はそれぞれの向精神薬が生まれた歴史から、作用・副作用、使い方の実際まで幅広いものでした。先生から、「眠れない患者さまに、良く眠れる薬を処方することも出来るけれど、それによって通院が途絶えてしまうようであれば、まずは頓服を服用してもらうなど、早めに解決を求めない場合もある」という話がありました。講義を通して、竹内先生の患者様との関わりに対する思いにも触れられ、貴重な時間となりました。



参加者の方からは、「これまで病院で処方された薬の情報を確認したことがなかった」という声もあり、今回の家族懇談会が今後薬について少しでも考えていただけるきっかけになれば良いなと感じました。

（ 精神保健福祉士 正岡 芽実 ）

質問！①趣味・特技・好きなこと
②一言お願いします

新入職員 紹介

※職種別・50音順

ふじた まゆみ
藤田 真弓

< 看護補助者 >

- ① ゴルフ
- ② 宜しくお願いします。

わた いくみ
和田 育美

< 薬剤補助 >

- ① 音楽を聴くこと
- ② 作業を的確に行えるよう、責任感を持って業務に取り組みます。

看護部 活動報告



認知症の不思議な世界～最新知見とケア～

講師 堀口 淳先生

平成31年1月18日、くろだ病院5階の大会議室にて、島根大学名誉教授・慶応大学客員教授 堀口 淳先生より、「認知症の不思議な世界～最新知見とケア～」というテーマで研修を実施して頂きました。

中でも特に印象に残ったのが、統合失調症の方が骨髄移植によって統合失調症が改善したこと、逆に健康な方が骨髄移植によって統合失調症を患い、幻聴や幻覚といった症状が出るようになったことなど、初めて聞いた内容に驚きました。その他にも、認知症の方との関わり方など冗談を交えてお話しして頂き、有意義な時間を過ごすことができました。今後の患者様との関わりの中で、今回学んだことを生かしていきたいと思います。

ひまわり病棟 看護補助 野間 庸輔



身体合併症におけるケア

講師 日野貴嗣 看護師長

平成31年2月23日、新居浜で開催された研修会に参加しました。

今まで精神科における身体合併について深く考えたことがなく、この研修を通してその重要性について学ぶことができました。精神科の患者様の場合は、本人の訴えがどこまで正確なのかの判断が難しく、全身状態の観察や血液検査のデータなど、多方向からの観察や考察が必要であると感じました。今後も今回の研修内容を生かし解剖生理を理解して看護に取り組んでいきたいと思います。

ひまわり病棟 看護師 谷水 健二

① 事例検討発表

さくら病棟 看護師 宮内 眞由美
ひまわり病棟 看護師 武井 利恵
コスモス病棟 看護師 杉本 由佳利

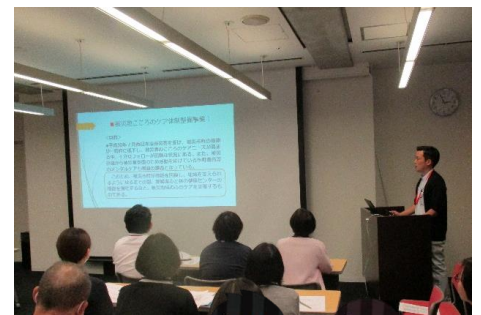
② こころのケア事業 参加報告

コスモス病棟 看護主任 内田 貴彦
ひまわり病棟 看護師 渡辺 千奈美

今回、事例検討、被災地こころのケア事業の研修会に参加しました。事例検討ではさくら病棟の一員として共同研究者として参加しました。研究を行う事で、患者様個人をアセスメントした上で個別看護を行うことの必要性を感じました。

被災地こころのケア事業の研修会では、くろだ病院の看護師として参加報告を知ることができ、西日本豪雨災害を受け、被災者のこころのケアに対するニーズは高まっているが、十分なフォローが困難な状況にある事を知りました。医療従事者としてこころのケアの必要性について関心を持つことの重要性を感じました。

コスモス病棟 看護師 松林 都



老人保健施設 菜の花



この景色最高！



桜

❀ 平成最後は花見三昧 ❀

砥部七折

梅



春のお便り

～令和の春～

4月1日、日本の新しい元号は『令和』と発表されました。

画面に現れた『令和』という文字を見て、素直に美しいと感じ、まだ風は冷たいけれど春の花が次々と開く今の季節と相まって、優しく心に残る瞬間となりました。安部晋三首相は、新元号『令和』に込めた意味について「悠久の歴史と香り高き文化、四季折々の美しい自然、こうした日本の国柄をしっかりと次の時代へと引き継いでいく、厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人の日本人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込めた」と語られました。

令和の『和』は我が光佑会が理念として掲げている言葉でもあります。「人の『和』が患者奉仕の第一歩である。『和』は人の心を尊ぶことが第一歩である」。草木が芽吹く、暖かで心地良い季節とともに、いよいよ新年度のスタートです。

今期は平成最期の、そして新年号『令和』への架け橋となる大切な時、訪問看護ステーションとしていろいろなことを思い起こし整理して、初心に帰り、新しい時代『令和』に繋がたいと思います。皆様がよい時代を迎えられますよう心よりお祈り申し上げます。

万葉集『梅花の歌』序文現代語訳

「初春の佳き月で、空気は清く澄みわたり、風はやわらかくそよいでいる」

訪問看護ステーション菜の花 所長 吉岡 久乃

花言葉

ちょっと一息

『令和』の花 『梅』の花言葉は…
「不屈の精神」「高潔」「忠実」「忍耐」



紅梅の花言葉は … 「優美」「優雅」

白梅の花言葉は … 「気品」「澄んだ心」



『飛梅伝説』

平安時代のお話です。藤原時平との政争に敗れた菅原道真は、九州の大宰府へ左遷されることになります。

そして旅立ちのひとなり、道真は庭で大事に育てていた梅・桜・松との別れを惜しんで歌を詠みました。

「東風(こち)吹かば にほひをこせよ 梅の花 あるじなしとて 春な忘るな」
～春風が吹いたら、花をさかせて香りを届けておくれ梅の花よ、

主人が居なくなっても春を忘れないでおくれ～

別れの歌を聞き、梅・桜・松は自分たちが慕う道真が去ることをしりました。そして、桜は悲しみのあまり萎れて枯れました。梅と松は、道真を追って大空を飛びました。

ところが、松は途中で力尽き、摂津の地に根を下ろします。そして只ひとり、梅だけが太宰府まで飛んで行き、そこで根を下ろして見事に花を咲かせたといわれています。この菅原道真の

「飛梅伝説」のように、主人を裏切ることなく仕える姿が由来となって、梅の花言葉

「忠実・忍耐・不屈の精神」が付いたとも言われているそうです。

介護老人福祉施設 こより



さくらのお焼き作り



生地に桜の葉パウダー、
桜の花フレークを使用し、
春色いっぱい仕上げました。
見た目、香り、味三拍子そろった
春のお焼きを堪能しました。

あとがき

さて、『令和元年』初めてのくろだよりはお楽しみいただけただでしょうか。
暖かく過ごしやすい季節になりましたが、体調を崩しやすい時期でもありますので、皆様体調には十分に気を付けてくださいね。

本年度も、企画広報委員一同、皆様に楽しんでいただけるように頑張っています。
次回は8月の発刊を予定しております。ご愛読ありがとうございました。

企画広報委員会

【くろだ病院】	☆西本 真由美	☆客野 莉映子	☆只 由佳里
	☆山中 沙樹	☆黒川 沙也香	
【菜の花（施設）】	☆小濱 真紀子	☆井ノ口 美樹	
【菜の花（訪看）】	☆吉岡 久乃		
【こより（施設）】	☆山中 彩	☆黒河 裕二	



当誌における個人情報の取り扱いについて

- 取材（写真・画像など含む）、原稿依頼等により取得した個人情報及び個人データは、「くろだより」への掲載の為に使用します。
- 当広報誌は、個人情報が掲載されておりますので、複写・転載を禁じます。
- 個人情報の動画・画像の取り扱いについては、各病院・施設ごとで患者様及びそのご家族との間で取り交わした書面の内容に基づいて取り扱っております。